

高瀬町総合交流ターミナル施設(たかせ天然温泉)工事概要

所在地	三豊市高瀬町上高瀬 768-1
建築面積	1,848 m ²
建物構造	鉄筋コンクリート平屋建て
事業費	625,000千円
設計業務	(株)真鍋令建築設計事務所 代表取締役 真鍋 令 丸亀市土器町北一丁目 41 番地
・実施設計	委託金額 12,558,000 円 工期 平成9年9月2日～平成10年3月10日
・工事監理	委託金額 10,500,000 円 工期 平成10年6月10日～平成11年8月31日
建築工事	西松建設(株)四国支店 取締役支店長 石橋 直 高松市番町三丁目 8 番 11 号
・新築工事	工事金額 568,260,000 円 工期 平成10年7月1日～平成11年8月31日
・外構工事	工事金額 26,040,000 円 工期 平成11年6月28日～平成11年8月31日
供用開始日	平成11年12月3日
管理主体	たかせ天然温泉グリーンヒル(株)

構造設計標準仕様

適用は 図 印を記入する。

1. 建築物の構造内容

- (1) 工事名称 高瀬町総合交流ターミナル施設新築工事
 建築場所 香川県三豊郡高瀬町
- (2) 工事種別 新築 増築 増改築 改築
- (3) 構造種別
木造 (W) 補強コンクリートブロック造 (CB) 鉄骨造 (S)
鉄筋コンクリート造 (RC) 壁式鉄筋コンクリート造 (WRC)
鉄骨鉄筋コンクリート造 (SRC) 壁式プレキャスト鉄筋コンクリート造 (WPRC)
プレキャスト鉄筋コンクリート造 (PRC)
- (4) 階数
 地下 0階 地上 1階 延層 階
- (5) 主要用途 浴場
- (6) 屋上付属物
広告塔 高架水櫃 ton
煙突 キュービクル ton
- (7) 増築計画 有 無
- (8) 付帯工事
門扉 換気
- (9) 特別な荷重
エレベーター 人乗 (ロープ式 油圧式) リフト ton ホイス ton
倉庫用床 用 Kg/m² 受水櫃 ton
- (10) 構造計算ルート X方向ルート -(1) Y方向ルート -(1)

3. 地盤

- (1) 地盤調査資料
有 (敷地内 近隣) ボーリング調査 平板載荷試験 水平地盤反力係数の測定
 調査 (調査予定 有 調査)
- (2) 地盤調査計画
ボーリング調査 動的貫入試験 標準貫入試験 水平地盤反力係数の測定
土質試験 物理探査 平板載荷試験
- (3) 地盤調査及び試験の結果により、杭長、杭径、直接基礎の深さ、形状を変更する場合もある
- (4) ボーリング標準貫入値、土質構成 (基礎、杭の位置を呼称すること)

深度	土質	N値	標準貫入試験						
			10	20	30	40	50	60	
									<input type="checkbox"/> 調査地番
									<input type="checkbox"/> 位置図
									<input type="checkbox"/> 支持地盤、地層及び深さについてコメント
									<input type="checkbox"/> 孔内水位 GL - m
									<input type="checkbox"/> 近隣データの調査地番と設計地番とは約 mの距離がある
									<input type="checkbox"/> 備考

2. 使用構造材料

適用箇所	種類	設計標準強度F _c -N/mm ²	スラブcm	備考
捨コンクリート	図管理	図16	15	
土間コンクリート	図管理	図18 <input type="checkbox"/> 21	15	
基礎、基礎梁	図管理	<input type="checkbox"/> 18 <input type="checkbox"/> 21 <input type="checkbox"/> 24	15	
柱、梁、床、壁	図管理、 <input type="checkbox"/> 軽集	<input type="checkbox"/> 18 <input type="checkbox"/> 21 <input type="checkbox"/> 24	18	比重
	<input type="checkbox"/> 管理、 <input type="checkbox"/> 軽集	<input type="checkbox"/> 18 <input type="checkbox"/> 21 <input type="checkbox"/> 24		比重
押えコンクリート	<input type="checkbox"/> 管理、 <input type="checkbox"/> 軽集	<input type="checkbox"/> 16 <input type="checkbox"/> 18		比重

(2) コンクリートブロック (CB)

A種 B種 C種 厚100 120 150 190

(3) 鉄筋

種類	径	使用箇所	施工工法
異形鉄筋	<input type="checkbox"/> SD295A	D10~D16	図重み融手 D10~D16
	<input type="checkbox"/> SD295B		
	<input type="checkbox"/> SD345	D19~D22	図ガス圧接融手 D19以上
	<input type="checkbox"/> SD390		
丸鋼	<input type="checkbox"/> SR235		<input type="checkbox"/> 特殊融手
溶接金網	<input type="checkbox"/>		()

(4) 鉄骨

種類	使用箇所	現場溶接	設計標準強度	備考
<input type="checkbox"/> SB400 <input type="checkbox"/> SM400A <input type="checkbox"/> SM400B	柱、梁	<input type="checkbox"/> 有 <input type="checkbox"/> 無	図0.9F <input type="checkbox"/> 1.0F	
<input type="checkbox"/> STKB400 <input type="checkbox"/> STKB490		<input type="checkbox"/> 有 <input type="checkbox"/> 無	<input type="checkbox"/> 0.9F <input type="checkbox"/> 1.0F	
<input type="checkbox"/> SM490A <input type="checkbox"/> SM490B		<input type="checkbox"/> 有 <input type="checkbox"/> 無	<input type="checkbox"/> 0.9F <input type="checkbox"/> 1.0F	
<input type="checkbox"/> BSC400		<input type="checkbox"/> 有 <input type="checkbox"/> 無	<input type="checkbox"/> 0.9F <input type="checkbox"/> 1.0F	

(5) ボルト

図高力ボルト F10T S8T S10T 規定品 (M12, M16, M20, M22)

中ボルト φ= φ= 高力ボルトすべり保護試験 要 否

図アンカーボルト SB400 φ= 16 L= 560 mm ナット(シングル、ダブル)

φ= 20 L= 700 mm

鋼付スタッフ φ= L= mm

(6) 屋根、床、壁

ALC版 厚 H= 厚

折版 型式 H= 厚

デッキプレート 型式 厚

キーストンプレート 型式 厚

特殊デッキプレート QL99-50-12

4. 地業工事

- (1) 直接基礎 ベタ基礎 布基礎 独立基礎 試験場 有 無
 深さGL - 0.90 m、支持層- 長期許容支持力度 30.0 t/m² 既得試験 有 無
 ~1.7]
- (2) 杭基礎 支持層-

杭種	材料	施工法	備考
<input type="checkbox"/> RC <input type="checkbox"/> PC	PC (<input type="checkbox"/> A種 <input type="checkbox"/> B種 <input type="checkbox"/> C種)	<input type="checkbox"/> 打ち込み	大気測定番号 年月日
<input type="checkbox"/> PHC <input type="checkbox"/> H鋼	PHC (<input type="checkbox"/> A種 <input type="checkbox"/> B種 <input type="checkbox"/> C種)	<input type="checkbox"/> 巻き込み (セメントミルク工法)	
<input type="checkbox"/> 鋼管 <input type="checkbox"/> 単管杭	鋼材 <input type="checkbox"/> SS400 <input type="checkbox"/> STK400	<input type="checkbox"/> MT工法	
<input type="checkbox"/> 場所打ちコンクリート杭	コンクリートF _c = セメント量 Kg/m ² 鉄筋主筋 SD HOOP SD	<input type="checkbox"/> オールケーシング <input type="checkbox"/> 杭底杭 <input type="checkbox"/> リバースサーキュレーション <input type="checkbox"/> アースドリル <input type="checkbox"/> ミニアース <input type="checkbox"/> BH <input type="checkbox"/> 深埋 <input type="checkbox"/> 鋼線管	杭底杭 日本建築センター規定 番号 年月日

杭仕様 施工計画書承認 杭施工結果報告書

試験杭 (有・無) (打ち込み・載荷) 本

杭径 (mm)	設計支持力 (t)	杭の長さ (m)	本数	特記事項

鉄筋コンクリート工事

1) コンクリート

コンクリートはJIS認定工事の製品とし施工に関してはJASS5による。セメントは、JIS R5210の普通ポルトランドセメントを標準とする。関係計画は、工事開始前に工事監理者の承認を得ること。寒中、暑中、その他特殊コンクリートの適用を受ける期間に当たる場合は、関係、打ち込み、養生、管理方法など必要事項について、工事監理者の承認を得ること。フレッシュコンクリートの塩化物濃度は、原則として工事現場で(財)国土院技術研究センターの技術評価をうけた測定器を用いて行い、試験結果の記録及び測定器の表示部を一回の測定ごとに撮影した写真(カラー)を保管し承認を得る。測定検査の回数、通常の場合、1日1回以上とし、1回の検査における測定試験は、同一試料から取り分けて3回行い、その平均値を試験値とする。構造体コンクリート現場の圧縮強度試験供試体(JASS5T-603)は、現場水中養生、または現場封かん養生とし、採取は打ち込み区ごと、打ち込み日ごととする。また、打ち込み量が150mをこえる場合は150mごとまたは、その端部ごとに一回を標準とする。一回に採取する供試体は、適当な間隔をおいた3台の運搬車からその必要本数を採取する。なお、供試体の数量は、特別指示なき場合、1回当たり6本以上とし、そのうち4週用に3本を用いる。ポンプ打ちコンクリートは、打ち込み位置にできるだけ近づけて垂直に打ちコンクリートの自由落下高さは、コンクリートが分離しない範囲とする。ポンプ圧送に際しては、コンクリート圧送技士または同等以上の技能を有する者が従事すること。なお、打ち込み継続中における打継ぎ時間可算の限度は、外気温が25℃未満の場合は150分、25℃以上の場合は120分以内とする。

2) 鉄筋

鉄筋はJIS G3112の規格品を標準とする。鉄筋の加工寸法、形状、かぶり厚さ、鉄筋の継手位置、継手の重ね長さ、定着長さは「鉄筋コンクリート構造配筋標準図(1)(2)」または「壁式鉄筋コンクリート構造配筋標準図(1)(2)」による。D19未満は、すべて重ね継手とする。継手(D19以上)をガス圧接とする場合は、日本圧接協会「鉄筋のガス圧接工事標準仕様書」による。ガス圧接部の拭き取り検査は、同一作業班が同一日に施工した圧接箇所ごと(200箇所を越えるときは、200箇所ごと)に1回行い、1回の試験は5本以上とする。外観検査 有 〇無、引張試験 有 〇無、短管波探傷試験 〇有 〇無柱の増筋(HOOP)の加工方法は、H型(タグ型)〇W型(溶接型)〇S型(スパイラル型)とする。コンクリート及び鉄筋の試験は「建築物の工事における試験及び検査に関する東京都取扱要綱」第4条の試験で行うこと。

試験機関名
代行業者名
代行業者名とは、試験、検査に伴う業務を代行する者をいう。

3) 型枠

材料 合板厚 12 mmを標準とする。 〇
型枠名 〇

セメントの種別	せき板				支 柱			
	基礎、はり、柱、壁		スラブ下、はり下		スラブ下		はり下	
普通ポルトランドセメント	普通ポルトランドセメント	普通ポルトランドセメント	普通ポルトランドセメント	普通ポルトランドセメント	普通ポルトランドセメント	普通ポルトランドセメント	普通ポルトランドセメント	普通ポルトランドセメント
高強度セメントA種	高強度セメントA種	高強度セメントA種	高強度セメントA種	高強度セメントA種	高強度セメントA種	高強度セメントA種	高強度セメントA種	高強度セメントA種
シリカセメントA種	シリカセメントA種	シリカセメントA種	シリカセメントA種	シリカセメントA種	シリカセメントA種	シリカセメントA種	シリカセメントA種	シリカセメントA種
15℃以上	2	3	4	6	8	17	28	
5℃~15℃	3	5	6	10	12	25	28	
5℃未満	5	8	10	16	15	28	28	
クリートの強度	50Kg/cm ²		設計基準強度の50%		設計基準強度の85%		100%	

- 片持り、圧、スパン等、0m以上のはり下は、工事監理者の指示による。
- 大ばりの支柱の盛りかえは行わない。また、その他のはりの場合も原則として行わない。
- 支柱の盛りかえは、必ず直上階のコンクリート打ち後とする。
- 盛りかえ後の支柱頂部には、厚さ受板、角材または、これに代わるものを置く。
- 支柱の盛りかえは、小ばりが終ってから、スラブを行う。一時に全部の支柱を取り払って、盛りかえをしてはならない。
- 上表以外のセメントを使用する場合は工事監理者の指示による。

6. 鉄骨工事

(1) 鉄骨工事は指示のない限り下記による

- 日本建築学会「JASS6」「鉄骨強度検査基準」「鉄骨工事技術指針」
- 鋼材協会「建築鉄骨工事施工指針」

(2) 工事監理者の承認を必要とするもの

- 製作工場
- 製作要領書
- 工作図
- 施工計画書
- 建設告示第1103号による認定工場(大臣認定Rグレードまたは都庁登録 ランク)
- 材料指図書明書または試験成績書
- 鋼材
- 高力ボルト
- 特殊ボルト
- スタッドボルト
- 社内検査表

(3) 工事監理者が行う検査項目

- (鋼印以外の項目の検査結果については、工事監理者に報告すること)
- 現状検査
- 組立・開先検査
- 製品検査
- 建方検査

(4) 接合部の溶接は下記によること

- 鉄骨造等の建築物の工事に関する東京都取扱要綱(建築構造設計指針第12条)
- 日本建築学会「溶接工作標準、同解説I、II、III、IV、V、VI、VII、VIII」

(5) 接合部の検査

- 溶接部の検査(検査結果は後日工事監理者に報告すること。)

検査箇所	検査方法	検査率又は検査数			備 考
		社 内	第 三 者	工 事 監 理 者	
突合せ溶接部	超音波探傷試験	〇	30 %	〇	
〇	外観(目視)検査	100 %	100 %	100 %	
〇	マクロ試験・その他	〇	〇	〇	

第三者検査機関名
第三者検査機関とは、建築主、工事監理者又は工事施工者が、受入れ検査を代行させるために自ら契約した検査会社をいう。

注) 現場溶接部については原則として第三者による全数検査を行うこと。

- 高力ボルトは「JIS B1186の高力ボルト」を標準とする。摩擦面の処理は黒皮などを産金外径2倍以上の範囲でショットブラスト、グラインダー掛け等を用いて除去した後、屋外に自然放置して発生した、赤さび状態であること。ただし、ショットブラスト、グリットブラストによる処理で表面あらかさがRS以上である場合は、赤さびは発生しないままでよい。
- 高力ボルトの締付けに使用する機器はよく調整されたものを使用し、締付けの順序は部材が十分に密着するよう注意して行う。また、締付けは原則として2度締めとする。締付け後の検査は、各締付け法別に適切な締付けが行われているか検査する。

(6) 防錆塗装

- 防錆塗装の範囲は、高力ボルト接合の摩擦面及びコンクリートで被覆される以外の部分とする。錆止めペイントは、JIS K5621、2回塗りを標準とする。
- 現場における高力ボルト接合部及び接合部の露地鋼材は入念に行い、塗装は工場塗装と同じ錆止めペイントを使用し2回塗りとする。

(7) 耐火被覆の材料

- 〇

7. 設備関係

- 特記以外の架設場所は原則として設けない。設ける場合は設計者の承認を得ること。
- 設備機器の架台及び基礎については工事監理者の承認を得ること。
- 床スラブ内に設備配管等を埋込む場合はスラブ厚さの1/3以下とし層の間隔を5cm以上とする。

8. その他

- 諸官庁への届出書類は遅滞なく提出すること。
- 各試験の供試体は公的試験機関にて試験を行い工事監理者に報告すること。

担 当	工事名	高瀬町総合交流ターミナル施設新築工事	設計	年 月 日	図面番号
	図面名	構造設計標準仕様	龍尺		

香川	高瀬町	高瀬町総合交流ターミナル施設新築工事	1998.10.28	1998.10.29	1998.10.25
----	-----	--------------------	------------	------------	------------

高瀬町総合交流ターミナル施設新築工事

鉄骨工事施工計画書


(鉄骨製作要領書)




品名	数量	単位	備考

西松建設株式会社 四国支店

高松 出張所

高瀬 作業所

承 諾
工事監理者

1998.10.31

承 認	照 査	作 成
所 長	監理技術者	技術担当者
		
1998.10.28	1998.10.29	1998.10.25

所在地：香川県三豊郡高瀬町大字上高瀬 768-1

電 話：0875-72-6091

3.サブマージアーク溶接

表-3・4

規 格	ワイヤ-銘柄	フラックス銘柄	使 用 区 分	備 考
JIS Z 3311 相 当	KW - 36	KF - 51	SS400	突合せ・溶融型
	KW - 43	KB - 110	//	突合せ・焼成型
	KW - 36	KF - 200	//	すみ肉・溶融型
	KW - 36	KB - 131	//	すみ肉・焼成型

3-5 塗 料

塗料は表-3・5のものを使用する。

表-3・5

区 分	規格および種類	銘 柄	備 考
錆止め	J I S	K 5 6 2 1	

3-6 材料の保管および管理

鋼材は、他工事のものと混合しないように保管場所を定め、変形・変質を生じないように保管し、腐食・チリ・油等、異物で汚損しないよう留意して保管する。

同一形状の材料で、規格または材質の異なるものについては記号または、色別により区分し混同しないよう注意して整理する。

超音波探傷検査・外観検査 報告書


(工事名)




高瀬町総合交流ターミナル施設新築工事

平成11年 1 月

設計・監理：株式会社 真鍋令建築設計事務所

施 工：西松建設 株式会社 四国支店

受 領	設 計 ・ 監 理	施 工
		

日本溶接検査株式会社 CIW認定(第8)C97号 〒763-0092 香川県高松市川西町南249-1 電話(0877)25-5963 FAX(0877)25-8812	承 認	照 査	担 当
			

1. 一角受事工頁

平成 11 年 1 月 18 日

超音波探傷検査報告書 (斜角一探触子法)

日本溶接協会(CJW)認定事業者
 日本溶接検査株式会社
 〒763-0092 丸亀市川西町南2-4-9番地1
 電話 (0877) 28-5963
 FAX (0877) 28-8812

検査発注者	西松建設株式会社 四国支店		
施工または製造所名	株式会社 フェニックスコーポレーション		
工事または製品名	高瀬町総合交流ターミナル施設新築工事		
検査年月日	平成 10 年 12 月 24 日 ~ 平成 11 年 1 月 11 日		
御立会者	高瀬町建築課 三好 様 株式会社 真鍋令建築設計事務所 林 様 亀山 様 奥村 様 西松建設株式会社 法兼 様 阿武隈川 様		
検査技術者名および資格	①NDIS 0601 超音波検査 3種 0241737 秋山 淳一 ②NDIS 0601 超音波検査 3種 0291538 本多 正勝		
探傷器	探傷器名	①三菱電機株式会社 FD-650 ②三菱電機株式会社 FD-650	製造番号 No. ①C43637N ②C48452
	点検年月日	平成 10 年 7 月 31 日 10 年 7 月 27 日	点検実施者 ①秋山 淳一 ②本多 正勝
	増幅直線性	JIS Z 2352の4.1 ± 3%	時間軸の直線性 JIS Z 2352の4.2 ± 1%
探触子	製造所名	①三菱電機株式会社 ②三菱電機株式会社	製造番号 No. ① 2138 ② 2094
	点検年月日	平成 10 年 各検査日 11	点検実施者 ①秋山 淳一 ②本多 正勝
	呼称	①5Z10×10A70 ②5Z10×10A70	不感帯 ① 5.0 mm ② 4.0
	STB屈折角	①70.0~70.5 度 ②69.0~69.5	分解能 ① 3 mm ② 4
	入射点	①12.0~13.0 mm ②11.0~12.0	A2感度 ① 29.5 dB ② 36.5
探傷条件	接触媒質	グリセリン、 グリス 、 CME	距離振幅特性曲線 STB-A2、 A2+ φ4×4
	探傷部分の状態	圧延肌	探傷感度 STB-A2、 A2+ 、 A3 、 A3+ 、 A6 φ4×4
	探傷範囲	0~1.0スキップ	感度補正量 ①② 0 dB
規格または基準	日本建築学会「鋼構造建築溶接部の超音波探傷検査規準」('96)		
	合否判定	表-12、表-13、表-14	による

(摘要)

